

現在の中学2年生より変わること

2018年～2020年（完全移行）

変更点1：学ぶ内容が大きく変わります

2020年から大学入試制度が変わるという話をご存知でしょうか？現行の入試センター試験が廃止され、共通選抜試験に変更されることに伴うことです。

それに応じた形で、小学生・中学生の学習内容が変わります。これを【移行措置】といいますが、実際にどのような形になるのかを見ていきましょう。

英語

新中学1年生から英単語数が1600～1800語程度必修となり、小学生では600～700語程度が必修となります。これは今までの【中学校3年間で1200語程度】をおおきくこえるものです。要約すれば、**小学校で現在の中学2年生程度（英検4級レベル）を習得し、そして新中学生では高校1～2年生程度（英検準2級レベル）になる**ということを意味しています。具体的には現在の高校内容（原形不定詞・仮定法など）を中学校で学ぶこととなります。また現在の中学2年生・中学1年生もこの内容を学習することが予想されています。

数学・算数

現小学3年生・現小学4年生では、以前小学6年生で習得する分野であった【メートル法】を**今年度学習したはずですが【過去形ですよ】（移行措置はすでに始まっています）**

2019年度からは、新中学1年生より【素数（もともと中3内容）・累積度数（追加事項）】として統計などの分野で増える内容があります。

これらは、英語・数学だけではなく5科目に云える内容です。

変わっていく内容や高いレベルを求められますので、生徒がついていけなくなる可能性があります。

変更点2：移行措置・新課程はそもそも

大学入試が変わり、学生に求める像が

時代とともに変わったためです

大学入試変革

民間検定の採用など大きく大学入試が変わっています（現在進行です）

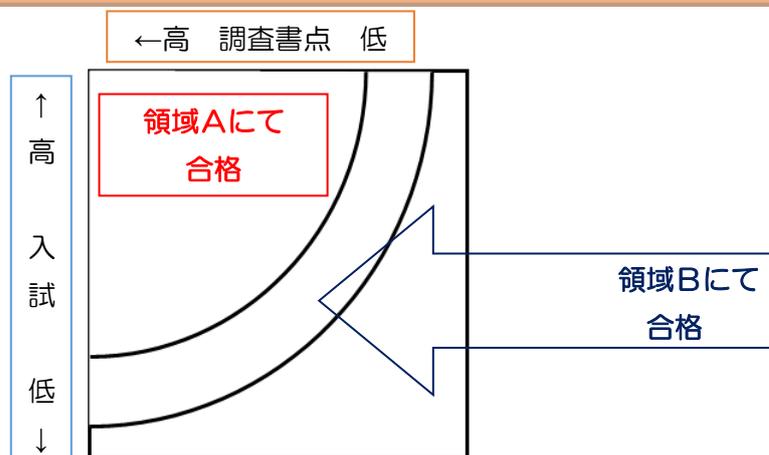
大学入試は以前とは異なり、**偏差値だけが求められるもの**ではなくなっています。

知っていれば得をする。情報が非常に大事な時代になってきました。

変更点 3：高校入試制度変更

共通選抜の現実

①まず、現在の（現中3生）の後期入試の情報です。

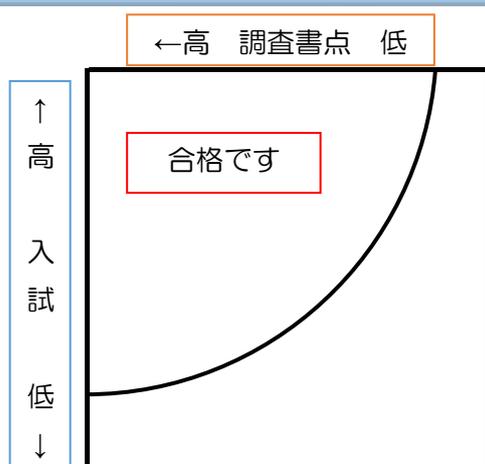


要約：1；高校は、まず調査書点（通信簿）195点満点と学力検査（入試）500点の相関をつくり
ます。後期受験の募集人数の約80%は領域Aに入っている受験生を合格者とします。

2；次に領域Aに入れなかった受験生を調査書の内容（生徒会長・部活の成績等）を加味して
残った募集人数の約20%を領域Bの合格者として選抜します。←ココ重要

つまり、後期入試は2段階の方法で合格者を決めます。（調査書に書かれている実績や中学校時代の活動も領域Bでは合否に関係します→調査書の内容も見ますよということです。）

②次年度以降、共通選抜での合格者の選抜方法



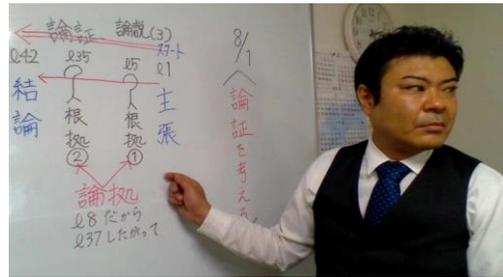
要約：上記の共通選抜の相関図を見ていただければわかるように、領域Bはありません。つまり、次
年度以降の共通選抜は調査書点195点と学力検査500点の相関図で合格圏内に入った受
験者だけが合格です。中学1年から中学3年の調査書点と入試の点数のみです←ココ重要

注意：上記のように後期入試と共通選抜は別物の入試、さらに現状より厳しい入試ということを保
護者様・新制度で入試を受ける生徒は知ってください。

情報分析は入試では強力な武器になるものです。情報は知って1歩。使って2歩。利を得て3歩です。

現実的な未来予想：次年度の入試について ケーススタディー（中学生、吾妻君を例に）

登場人物（↓の吾妻くん；とある新中学校3年生です）



未来予想ストーリー～パート1～

吾妻くんは、中学3年生になりました。そして進路を考えたとき仙台二高に行きたいと思っておりました。吾妻君「ようし僕は、二高に入るぞ！そしていずれは大学だ～！」

それでは、吾妻君の1年生と2年生の頑張りである調査書点を見てみましょう。

吾妻君の成績（1年と2年で同じだったと仮定）

教科	評価事項	評価	学年評定	調査書点	
国語	国語に関心がある	A	5	5	実技は 2倍になります
社会	資料を活用できる	A	5	5	
数学	基礎基本を理解している	A	5	5	
理科	自然に興味がある	B	5	5	
音楽	意欲的に取り組んでいる	B	4	8	
美術	美術的感性がある	B	4	8	
保健体育	運動が素晴らしい	C	2	4	
技術・家庭	独立しての生活力がある	C	1	2	
英語	英語が話せる	A	5	5	
願書提出する点数→		平均・合計	4	47点	
		満点は	5	65点	

ポイント：吾妻君は1年生と2年生で平均4.0の調査書47点。2年間で合計94点になっています。

未来予想ストーリー～パート2～

吾妻君は受験生であることを自覚し大いに頑張りました！ 吾妻君「絶対二高に行くんだ！」

そして

とうとう吾妻君は中学3年生ではオール5の成績を取りました！！

中学3年生の時の調査書点はもちろん満点です！平均5そして調査書点は満点の65点

それでは出願です。

ポイント：吾妻君が仙台二高に提出する調査書点は94点+65点の【159点】です平均4.3点

仙台二高入試情報（過去の分析も重要）定員は共通選抜288名と特色選抜32人の【320名】

①2019年度（現中3）前期入試受験者308名（募集96名に対し倍率約3倍）

②二高前期入試条件：調査書平均4.8以上の者または、県ベスト8位以上などの部活の実績かつ調

査書平均4.3以上の者→つまり4.8以上や4.3以上の受験者が【308名】いたという事実！

新入試制度になっても高得点の調査書点を取っている子はいます

結論：吾妻君は中1・中2で平均4.0の調査書。中3にオール5を取りましたが平均4.3なので共通選抜（【288人】募集・合格の9割）では厳しいですが調査書点だけで受験者中下位でしょう。

制度変更は大変厳しいもの（現実）です！該当するご家庭は早期からの準備が合否につながります。